



明るさとやさしさに満ちた豊溪中
豊 溪 中 だ よ り

練馬区立豊溪中学校
校長 関根 奈美江
令和8年4月15日
第1号

新しい環境でのスタートです!

4月1日付でこの練馬区立豊溪中学校の校長となりました、関根 奈美江です。どうぞよろしくお願いいたします。今号では、新しい環境でドキドキしている生徒達へ贈った話を2つ、皆様にもご紹介いたします。ぜひご一読ください。

【始業式 4/7】

いよいよ新しい1年がスタートします。実は、私が「校長」として赴任するのは、この学校が初めてです。皆さんの中には、新しい学年が始まり、期待と同時に不安を抱いている人もいるでしょう。今の私も同じです。校長としての第一歩を、皆さんと同じように緊張しながら、そしてワクワクしながら、今日この場所に立っています。

さて、皆さんも知っている通り、本校は数年後に統廃合を控えています。この豊溪中学校がこれまでどれほど地域の方々に愛され、大切にされてきたか。それは、地域の方々や卒業生が学校の未来について真剣に考え、同時にさみしい思いを抱いてくださっていることから深く伝わってきます。だからこそ、私はこのこれからの期間を、ただ閉校を待つだけの時間には絶対にしたくありません。今日からの日々は、この学校が刻んできた素晴らしい歴史に有終の美を飾る、「3年がかりの大切なプロジェクト」の始まりです。そのプロジェクトの大きな柱として、皆さんに大切なお願いがあります。それは、来年、令和9年に実施される「開校80周年式典」の企画を先生たちと一緒に考え、一緒に運営してほしいということです。

このプロジェクトに向けて、皆さんに期待する役割が二つあります。

一つ目は、3年生。皆さんは、自分たちの手で力強く歴史を創り上げる「開拓者」です。80周年式典はもちろん、「地域の人と一緒にこんなことをやってみたい」というアイデアを、ぜひ発信してください。人数が減っていく中で、これまでの運動会や行事のやり方は、通用しなくなるか

もしれません。でもそれは、ピンチではなく、新しいものを生み出す「チャンス」です。これまで先輩たちが築いてきた伝統を受け継ぎながら、皆さんがゼロから創り出す新しい形が、閉校までの豊溪中の道しるべになります。

二つ目は、2年生。皆さんは「架け橋」です。先輩が開拓した道をさらに良くして、後輩へ繋ぐ役割です。学校の中核として先輩を支え、共に力強く学校を引っ張ってください。

そして、この「架け橋」には、もう一つ大切な意味があります。それは「地域の方々との架け橋」です。大好きな学校が変化していくことに心を痛めている地域の方々に、皆さんが日々を大切に過ごし、仲間と共に前向きに成長していく姿を見せてください。それこそが、地域の方々の心を繋ぎ、何よりの安心へと繋がる頼もしい架け橋になるのです。

明日は入学式。10人の1年生が入ってきます。新入生が安心して学校生活を送れるよう、どうか皆さんのもつ温かさや優しさで導いてあげてください。

私は皆さんと一緒に、「これまでで一番、笑顔と良い思い出があふれる時間」にしたいと本気で思っています。全校生徒で力を合わせて、数年後に振り返った時、「ここで学べて本当によかった」と誰もが胸を張れる、誇れる学校を、私と一緒に創っていきましょう。皆さんのこれからの活躍を心から期待しています。よろしくお願いいたします。

【新2年生47名、新3年生43名が集い、整然とした空気の中で着任式、始業式を行いました。さすが、豊溪中学校の先輩たち!】



【入学式 校長式辞 4/8】

柔らかな春の光が差し込み、木々の新緑が鮮やかに息吹くこの佳き日、ご来賓の皆様、ならびに保護者の皆様のご臨席を賜り、令和八年度 練馬区立豊溪中学校の入学式を挙げていただきますこと、心より感謝申し上げます。

ただいま呼名されました十名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今日から皆さんは、この豊溪中学校の大切な生徒です。教職員、在校生一同、皆さんの入学を心から歓迎いたします。

さて、皆さん、豊溪中学校の校章のモチーフが何か、知っていますか。これは春の七草の一つ「スズシロ」、つまり、大根の花がデザインされたものです。「大根」と言うと少し面白く聞こえるかもしれませんが、実はすごいパワーを持っているんです。大根は、どんな土でも力強く根を張り、どんな料理にも美味しく馴染みます。この姿から、スズシロには「適応力」という花言葉があります。今日、私から皆さんに、このスズシロに込められた「適応力」という言葉を贈ります。

今日から始まる中学校生活は、環境が大きく変わります。「どうしよう?」と困ることもあるはずです。そんな時、「まあいいや」と諦めるのではなく、どんな場所でもたくましく根を張る大根のように、「じゃあ、どうすればいいかな?」と自分で考えて動く力、「適応力」をぜひ身に付けてほしいと願っています。困った時には校章を見て、この話を思い出してくださいね。

今年の入学生は、十名です。十名という人数は、決して多くはありません。しかし、だからこそ、これから共に過ごす三年間は、お互いの存在が

とても大きく、深く理解し合える濃密な時間になります。みんな、性格も得意なことも違います。だからこそ、「自分とは違うな」と思っても、相手のいいところを見つけて、お互いに大切にしよう。誰一人、ひとりぼっちにしない、優しい十人になってください。それが共に生きるということであり、人として最も大切なことです。



そして、皆さんも知っている通り、この豊溪中学校は三年後に閉校を迎えます。地域の皆様がこの学校をどれほど深く愛し、大切に守ってくださったか。その思いを胸に、三年後の閉校の年を最高学年として迎える皆さんに、私から一つ、特別なミッションを提案します。

それは、三年後の「閉校式」を、皆さん自身の手で作り上げるというプロジェクトです。先生たちが決めた通りに動くのではなく、「どうすれば最後の日を最高の思い出にできるか」を、皆さんの手でイチから考えて作ってほしいのです。初めからうまくはいきません。みんなでたくさん話し合っ、自分たちだけの答えを見つけていってください。

もし、その挑戦の中で迷ったり、立ち止まりそうになったりした時は、どうぞ遠慮なく、ここにいる二年生、三年生を頼ってください。彼らは皆さんが安心して学校生活を送れるよう優しく助ける「架け橋」となり、自分たちの手でこの豊溪中学校を引っ張っていく「開拓者」となる頼もしい先輩たちです。必ず皆さんを導いてくれます。どうぞ安心して、この中学校での一歩を踏み出してください。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠にありがとうございます。大切に育ててこられたお子様を、本日より本校でお預かりいたします。閉校に向かう特別な三年間となりますが、私たち

教職員一同、お子様一人一人の心に寄り添い、健やかな成長のために全力で教育活動に取り組んでまいります。

ご多用の中ご臨席賜りましたご来賓の皆様、地域の皆様。学校の最終章へと向かう生徒たちが、地域に誇りを持ち、自分たちらしく学びを深めていけるよう尽力してまいります。これまでと変わらぬ温かい眼差しで、彼らをお導きくださいますようお願い申し上げます。

新入生の皆さん、そして豊溪中学校に関わるすべての人にとって、これからの三年間が誇り高く、素晴らしい時間となることを心から願い、式辞といたします。

【とても和やかで温かい入学式でした。みなさま、ありがとうございました。】

一つ目は、勉強です。小学校の時より難しくなる数学では、公式や専門用語など新しいことを学び、確かな力を身に着けたいです。

また、美術ではもともと絵を描いたり、工作をしたりするのが好きなので、自分の想像力を活かして素晴らしい作品を作りたいです。

二つ目は、友達づくりです。困ったときは、お互いに助け合えるようなかけがえのない友達をつくりたいです。

共に協力し合い、新しいことに積極的に挑戦します。

そして、笑顔あふれる3年間にしていきたいです。

先生方、先輩方、一生懸命がんばりますので、あたたかい目で見守っていただき、ご指導よろしく申し上げます。



【新入生の言葉】

本日は、このような素敵な式を行っていただきありがとうございます。私たち10名は、多くの期待を胸に、豊溪中学校の入学式を迎えました。

先月までランドセルを背負い、小学校に通っていた私たちが、新しい制服を着て、今、この場に立っています。

この日を迎えることができたのも、小学校でお世話になった先生方、あたたかく見守ってくださった地域の皆様、そしてここまで育ててくれた家族の支えがあったからだと思い、感謝の気持ちでいっぱいです。

私たちは、豊溪中学校で、勉強や学校行事、委員会など、多くのことに挑戦したいと思っています。私は、特にがんばりたいことが二つあります。

令和8年度学校経営計画について

紙面の関係で今号ではお伝えできませんでしたが、あらためてお知らせいたします。なお、本校ホームページには掲載しておりますのでご覧いただければ幸いです。また、本校の日々の様子をホームページにアップしてまいりますので、ぜひご覧ください。